



◇教員ポイント制！ どうなるっ！？

2022.11.12 No.49 -2

編集・発行：名大職組中央執行委員会
事務所：工学部 2 号館北館 332
HomePage：http://nuufs.org
e-Mail：nuufs@nuufs.org
連絡先：Tel. 052-789-4913
Fax. 052-781-4072

名大職組は今年 4 月の杉山総長との定例 4 者会見で「(教員)ポイント削減もなんとか取りやめる方向で考える」旨の発言があり、翌 5 月「組合もそれ(教員ポイント削減の停止)は大歓迎します。具体的な方策について伺いたい」と懇談しました。※「4 者」とは、名古屋大学職員組合(名大職組)、名古屋大学全学学生会(全学会)、名古屋大学大学院生協議会(名院協)の各代表および過半数代表のこと。

名大の教員ポイント制について

この 5 月の 4 者会見で、総長は「ポイント制を止めるわけではない、ポイント削減を止める」と表明し、4 者に対して名大の教員ポイント制の概略を説明しました。

運営費交付金が毎年 1.6% 削減されている。運営費交付金は人件費に使っているから、人が雇えなくなることから教員ポイント制を導入し、教授は 13 ポイント、准教授は 11 ポイント、助教は 8.5 ポイントとした。

そして、3 年間経ったら、全部持っているポイントのうち、4% を返して下さい。3 年毎に、最初は 5.5%、次は 4%、最後に 4% の削減を 9 年間に渡ってやるという約束を大学の中でした。

ただ、自分たちがプロジェクトとかでお金を稼いでくれば、そのお金で人を雇うことはできる。でもこのプロジェクトは永遠ではない。長く安定的に働ける人数は減らさざるをえない。そうすると 40 歳になっても、ちゃんとしたポジションにつけない、安心して働ける状態でなくなる。

ポイント制がよいのは、4% 削減する学部側の側からは、教授を何人削減するか助教を何人削減するかを自由に選べることで、教員ポイント制の概要を紹介しました。

教員ポイント制は大学の活力を 損なう！

また、総長は以下の通り発言しました。教員ポイント制導入は大学の活力が損なわれる。やる気がなくなるとか、問題が生まれる。名大は、運営費交付金は 1.6% 削減されている一方、全体の予算収入総額は減っていない。産学連携などを企業と一緒にやったり、教員の人たちがみんな頑張って科研費獲ってき

たりすると間接経費がついて、それで人を雇ったりできる。また任期付き雇用が増える。

結果として、大学の予算総額は増えて、いま 1 千億円ぐらいある。人を減らしたら負のスパイラルで、外部資金の獲得もどんどん減る可能性がある。教員ポイントの削減を止めようと思っているが、電気代がきつくて、どうなるかわからない。電気代は 2 倍になりそう。

人事は宝！

だから削減はもうやめよう と、確約はできないが、やめたい と思っている！

東海機構は昨年度、安い電力会社に変えた。いきなりそこが潰れ、今はピンチに。そこがリスクになっている。電気を止めるわけにはいかない。何をどう節約するのか、最後は人件費が一番楽だが。そこを別にしたら、国際卓越研究大学に応募するにあたって、人が一番宝。ある会社の社長は「人事は宝です、人事は会社の基本です」というていた。「人は宝」、だから削減はもうやめたいと思っているところ、まだ、確約はできないが。といった旨の話を総長はされました。

また総長は、8 月の組合の新役員との挨拶の中でも教員ポイント削減は一旦止めたいと語られました。

人事ポイント削減計画全体 3 年 先送りに！

このような経緯の中で、9 月の教育研究評議会で人事ポイント削減計画全体の 3 年先送りが提案されています。

名大職組は教員ポイント制の廃止を求めて今後も運動していきます。